

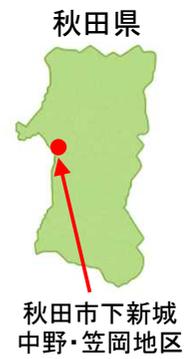
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻と路地野菜が主体の平地農業地域。
- 農業従事者の高齢化、農家戸数の減少等により、地域農業をリードする担い手の育成・確保を図る必要。

【支援内容・背景】

- 担い手の経営面積の拡大に対応して、作業の効率化の取組を支援する必要。
- 助成対象者は水稻、野菜（ねぎ等）を組み合わせた大規模複合経営を営む法人であり、新規就農希望者の研修受入れ等による新たな担い手の育成も実践。
このため、地区における複合経営の経営力強化の取組モデルとして育成を支援。



助成対象者「(農)笠岡ファーム」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成30年 複数農家で法人設立（農事組合法人）
- 平成31年 農業経営改善計画認定

《事業活用の背景》

○ 水稻・野菜の複合経営の経営力強化を図るためには、作業効率の向上が必要。水稻の作業の効率化、省力化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R元年度〉

○売上高 23.8百万円
○経営面積 29.8ha
(水稻、ねぎ等)

《事業による整備内容》

○コンバイン 1台
事業費 8,900千円
(国費 2,427千円)



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

○売上高 29.3百万円 (123%)
○経営面積 33.8ha (113%)
(水稻、ねぎ等)

事業の
効果

《対象者》 水稻の作業の効率化、省力化が図られ、経営面積、売上高の増加が実現。

《地区》 水稻の生産体制の強化が図られることにより、安定した経営が可能な水稻・野菜の大規模複合経営モデルが確立。